

西目屋村の津軽ダム工事現場：省東北地方整備局と東北建設業
で18日、西目屋中学校の生徒が：青年会が開いたもので、東北で
参加した体験学習会が開かれ：は初の開催。生徒たちは工事作
た。若い世代に建設業への関心：業の体験を通じて、建設業への
を持ってもらおうと、国土交通：理解を深めた。(福田藍至)

西目屋中生 津軽ダム工事現場で体験学習

建設業に理解深める

機器での測量など挑戦

コンクリート材を練る生徒ら



少子化と建設業離れが進む中、これまで人材確保活動は高校・大学生を対象としてきたが、さらに若い中学生にも職業の周知を図ろうと実施。東北6県で順次開催される予定で、本県がトップを切った。

この日は同校1〜3年の生徒17人が参加。南建設(弘前市)の担当現場で、コンクリートプレート作りと測量を体験した。プレート作りはコンクリート材を練り、木枠に詰めて固める作業を体験。測量では対象物までの距

離を目測や歩測した後、機器で測って正確さの違いを確かめた。

3年の三上頼哉君は「変さが分かった。建設業は暑い中で行われおり、作業員の大話した」と業に興味を持った。